

マイタイムライン作成地区別ガイドライン
〈第四地区東〉

第四地区東について

洪水常襲地区ではありませんが、地区の北部を狩野川が流れ、住宅が密集しています。川沿いは河岸浸食のおそれが高い区域となっています。

地区のほぼ全域が洪水浸水想定区域であり、大雨のときは水位の変化に注意が必要です。

また、地区の東部および北部に位置する香貫山周辺の急傾斜地は、土砂災害（特別）警戒区域に指定されており、令和2年7月豪雨では長期間にわたって降り続いた大雨の影響で香貫山の土砂の一部が崩落しました。

1 該当する単位自治会

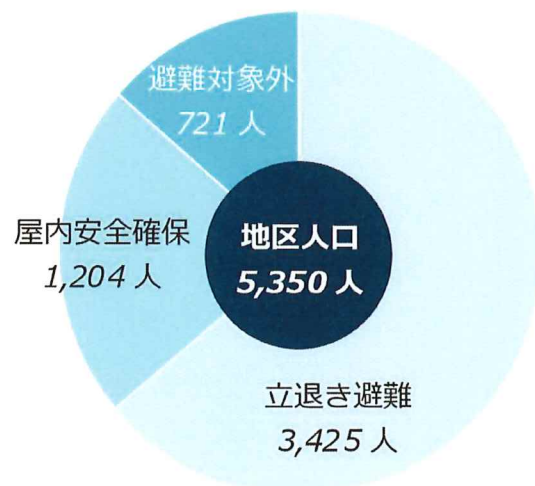
宮原町、玉江町、南本郷町東、南本郷町西、中住町、山下町、久保町、東豊栄町、西豊栄町、黒瀬町、中原町、中瀬町、住吉町

2 地区内で洪水浸水を及ぼす河川

狩野川

3 地区周辺の雨量

- 令和元年10月台風19号
257.5mm (10/11~12日)
- 令和3年7月豪雨
294.5mm (7/1~3日)
- 令和3年9月豪雨
163.5mm (9/1~2日)



図：地区の避難人口の割合

4 地区の避難人口と指定緊急避難場所

地区内の避難人口は、立退き避難が3,425人、屋内安全確保が1,204人、合計4,629人となっています。第四地区東の人口は5,350人のため、約9割の方が立ち退き避難又は屋内安全確保が必要な状況です。

指定緊急避難場所として第四地区センター、第四中学校を指定しています。

市が避難情報を発令したときは、第四地区センターを避難場所として開設します。自主避難者がいたり、第四地区センターだけでは避難者の受け入れが困難なときは、第四中学校を避難所として開設します。

避難場所	延べ床面積 (㎡)	※収容人数 (人)
第四地区センター	878	186
第四中学校	4,768	1,011

※収容人数は感染症等に配慮しない形での目安

5 洪水地区タイムライン例

近隣地区を挟んで流れる狩野川が氾濫し、想定最大規模の浸水となった場合には広範囲で影響を受けるため、水位状況を確認しながら避難の検討を行っていく必要があります。

洪水浸水想定区域における浸水深は1～3m、川沿いは3～5mで、浸水想定時間は概ね半日となっています（いずれも想定最大規模）。

また、香貫山周辺の急傾斜地は土砂災害（特別）警戒区域が指定されているため、土砂災害警戒情報や市からの避難情報が発令された場合には速やかに避難が必要です。

水位状況は静岡県サイポスレーダーやテレビのdボタン等から最新の情報を確認できます。

北部・東部に位置する香貫山の土砂災害に対しても警戒が必要です。

河川名称 観測所	警戒 レベル	狩野川 徳倉水位	対応	土砂災害
堤防高	5相当	8.4m	自宅が浸水していないならば最新の注意を払って立退き避難 避難行動要支援者がいる場合は2階以上など自宅の高い場所に避難 河川の付近に居住していてすでに付近が浸水している場合は立ち退き避難はしない	土砂災害発生
氾濫危険水位	4相当	7.2m	避難要支援者は避難開始 健康者も立退き避難または屋内安全確保により全員が安全な場所へ避難する	土砂災害警戒情報
避難判断水位	3相当	6.8m	連合自治会長は単位自治会長に、必要に応じ公民館や自治会館を避難所に開設するよう依頼 避難行動要支援者は避難を検討 市の避難所が開設された場合は必要に応じ民生委員や防災指導員等と協力し避難行動要支援者に声掛け又は同行避難	大雨警報
氾濫注意水位	2相当	4.0m	情報ツールによる大雨や気象情報等の状況確認開始 非常持ち出し品の準備 避難行動要支援者は立ち退き避難の準備、2階以上に住居がある人は2階以上へ移動	大雨警報
水防団待機水位		3.0m	民生委員や防災指導員と協力し避難行動要支援者への声掛け	

6 地区別カルテ

避難判断水位到達後に避難行動を開始したときは、おおむね氾濫危険水位到達までに避難行動を完了できますが（214箇所の結節点のうち213箇所が避難可能な青色を示しています。）、避難場所までの最長距離に位置する方たちが避難行動を開始したときは氾濫危険水位到達までの完了が困難となるおそれがあるため、当該地区に居住する方、特に避難行動要支援者の方は避難判断水位到達前に避難を開始する必要があります。

第四地区東 地区別洪水避難カルテ 基本情報

避難先：第四中学校

自治会名	A:立ち退き 避難人口	B:避難先 収容可能人数	充足率 B/A
宮原町、玉江町、南本郷町東、南本郷町西、中住町、山下町、久保町、東豊栄町、西豊栄町、黒瀬町、中原町、中瀬町、住吉町	3,425人	1,011人	30%

凡例

- 避難先
- 避難対象ノード^{※1}
- 道路ネットワーク
- × 道路冠水実績箇所
- 連合自治会境界
- 自治会境界

土砂災害リスク

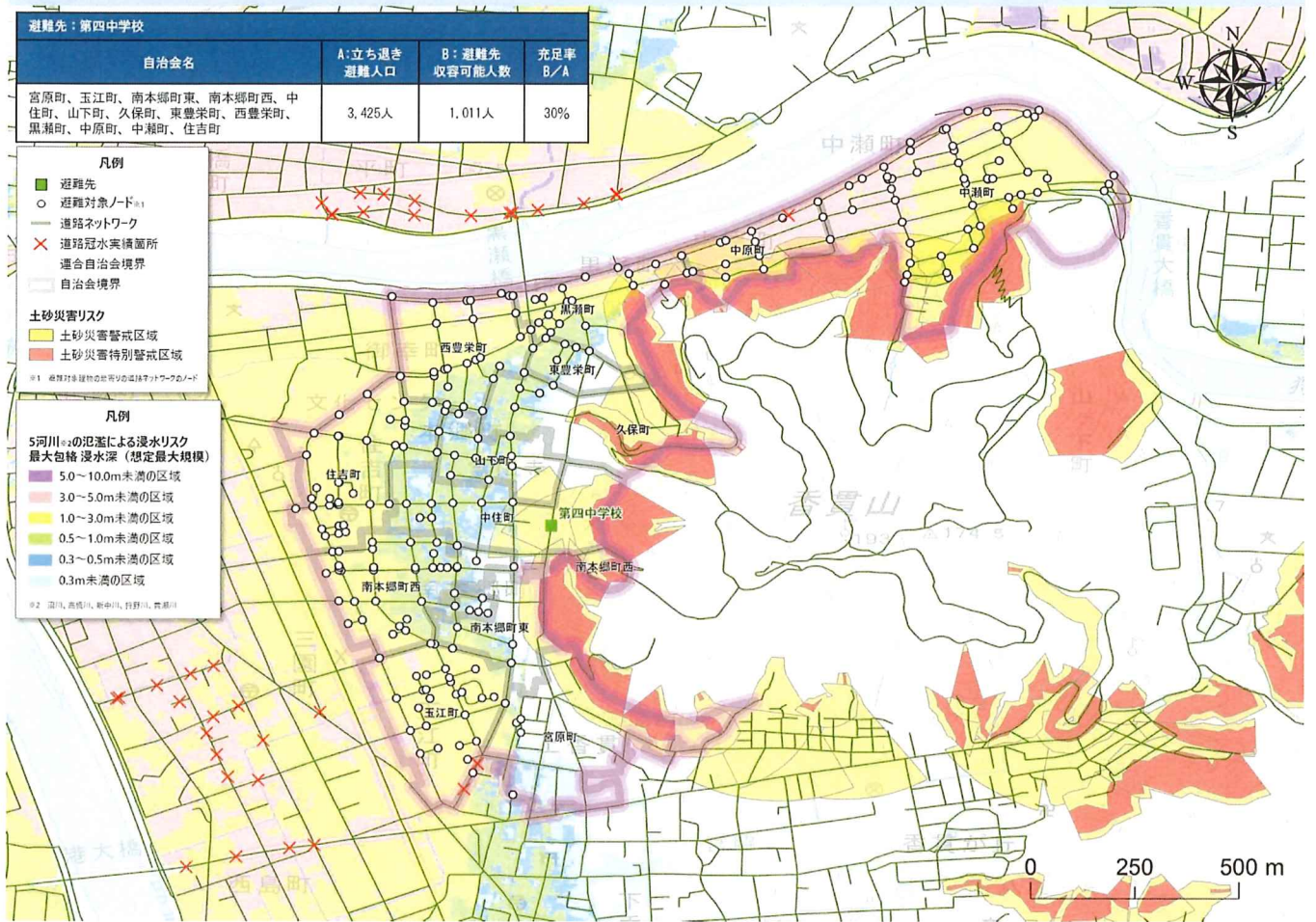
- 土砂災害警戒区域
- 土砂災害特別警戒区域

※1 避難対象建築物の所在の道路ネットワークノード

凡例

- 5河川^{※2}の氾濫による浸水リスク
最大包絡 浸水深（想定最大規模）
- 5.0～10.0m未満の区域
- 3.0～5.0m未満の区域
- 1.0～3.0m未満の区域
- 0.5～1.0m未満の区域
- 0.3～0.5m未満の区域
- 0.3m未満の区域

※2 源川、高瀬川、新中川、住吉川、黒瀬川



第四地区東 地区別洪水避難カルテ 住民避難シミュレーション結果(冠水実績箇所:通行不可)

避難先：第四中学校

種別	最長避難距離	避難時間	危険水位設定時における避難想定時間 ^{※3}	避難可否
一般者	1,763m	約30分	40分(狩野川)	可
要配慮者		約59分		不可

凡例

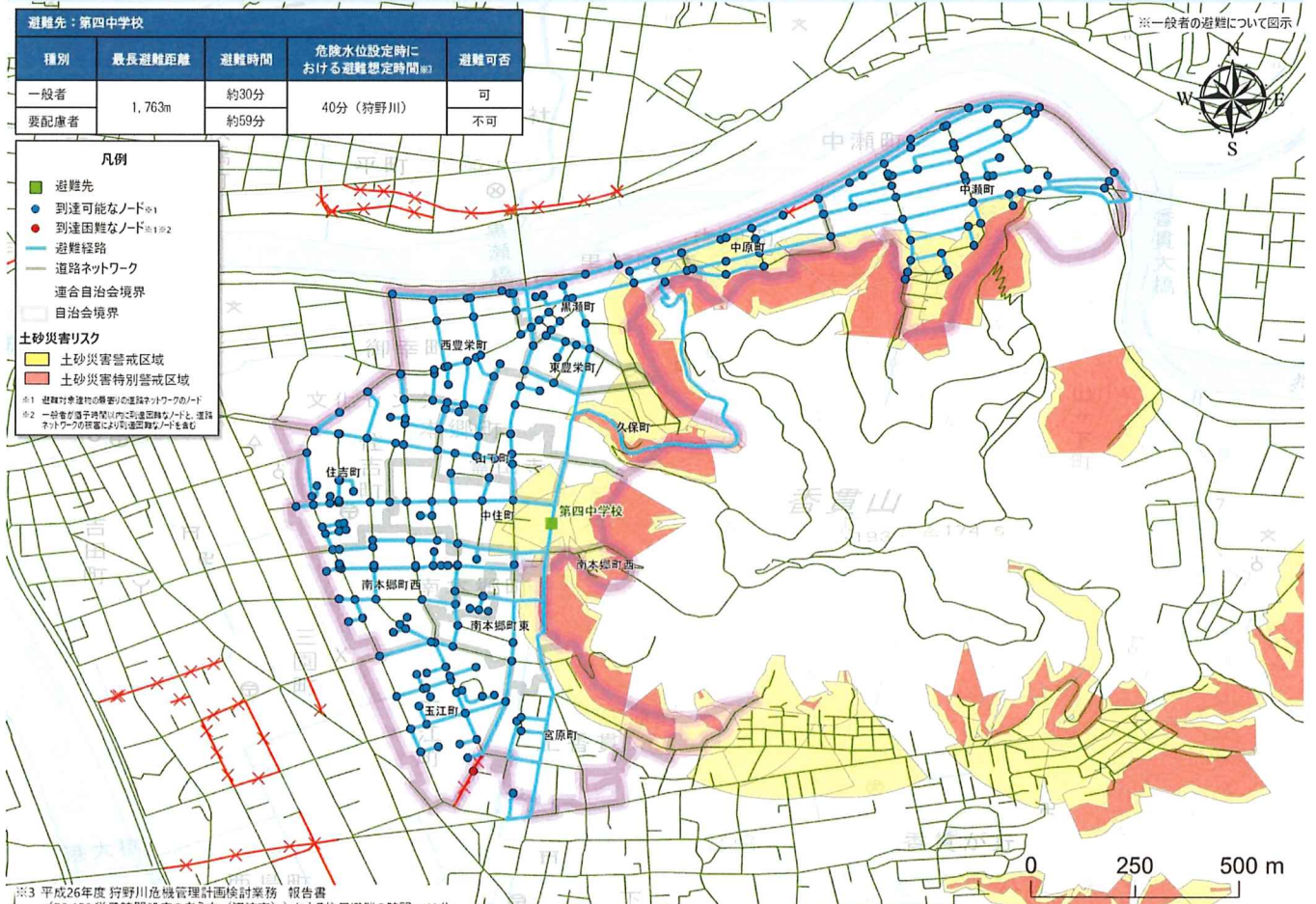
- 避難先
- 到達可能なノード^{※1}
- 到達困難なノード^{※1,2}
- 避難経路
- 道路ネットワーク
- 連合自治会境界
- 自治会境界

土砂災害リスク

- 土砂災害警戒区域
- 土砂災害特別警戒区域

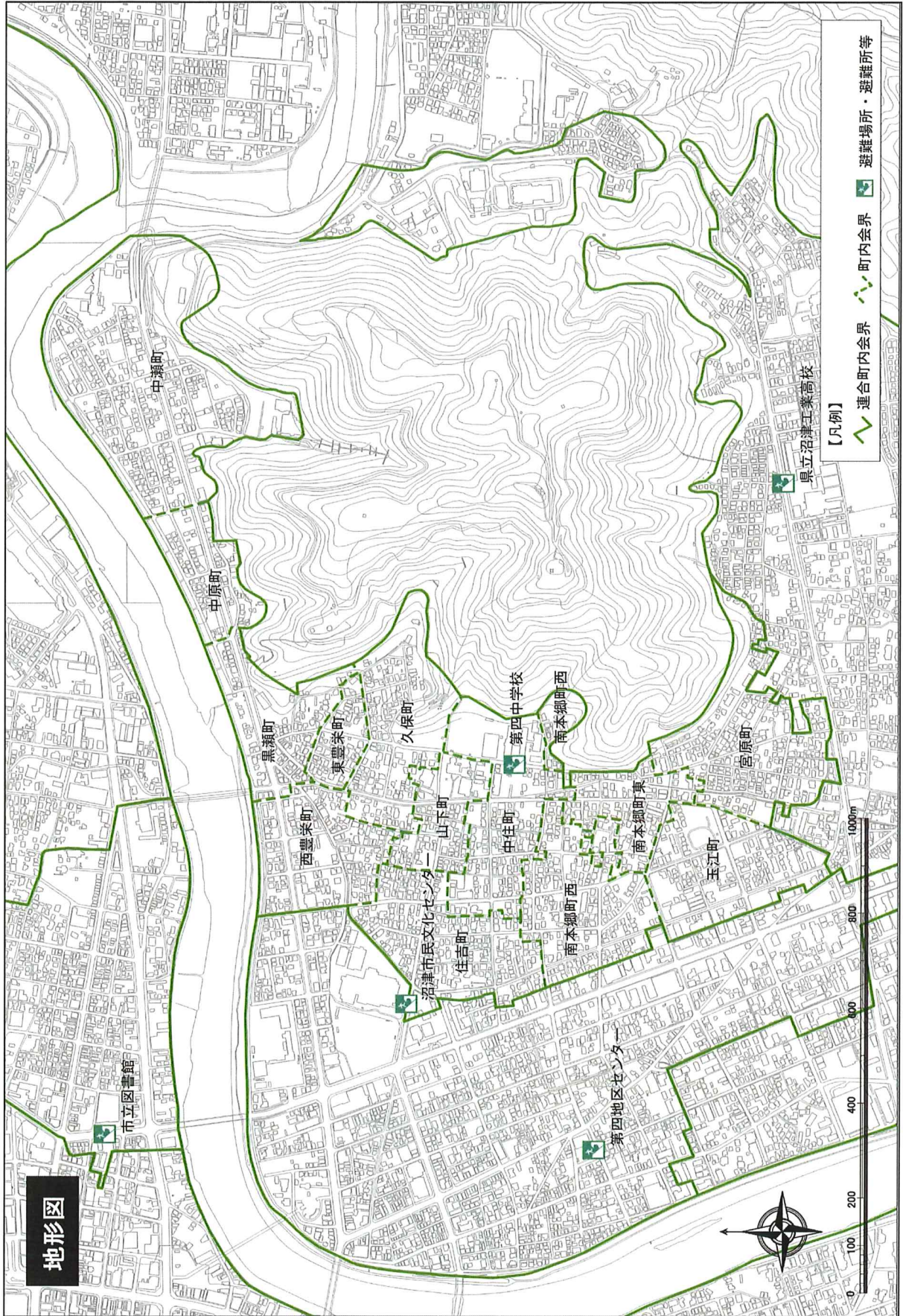
※1 避難対象建築物の所在の道路ネットワークノード

※2 一般者が最長距離(最長避難時間)を要する道路ネットワークノードを、道路ネットワークの両端から到達可能なノードと見做す



※3 平成26年度 狩野川危機管理計画検討業務 報告書 (P.150 猶予時間設定の考え方(沼津市)) による住民避難の時間=40分

地形図で自宅の位置を確認してみよう



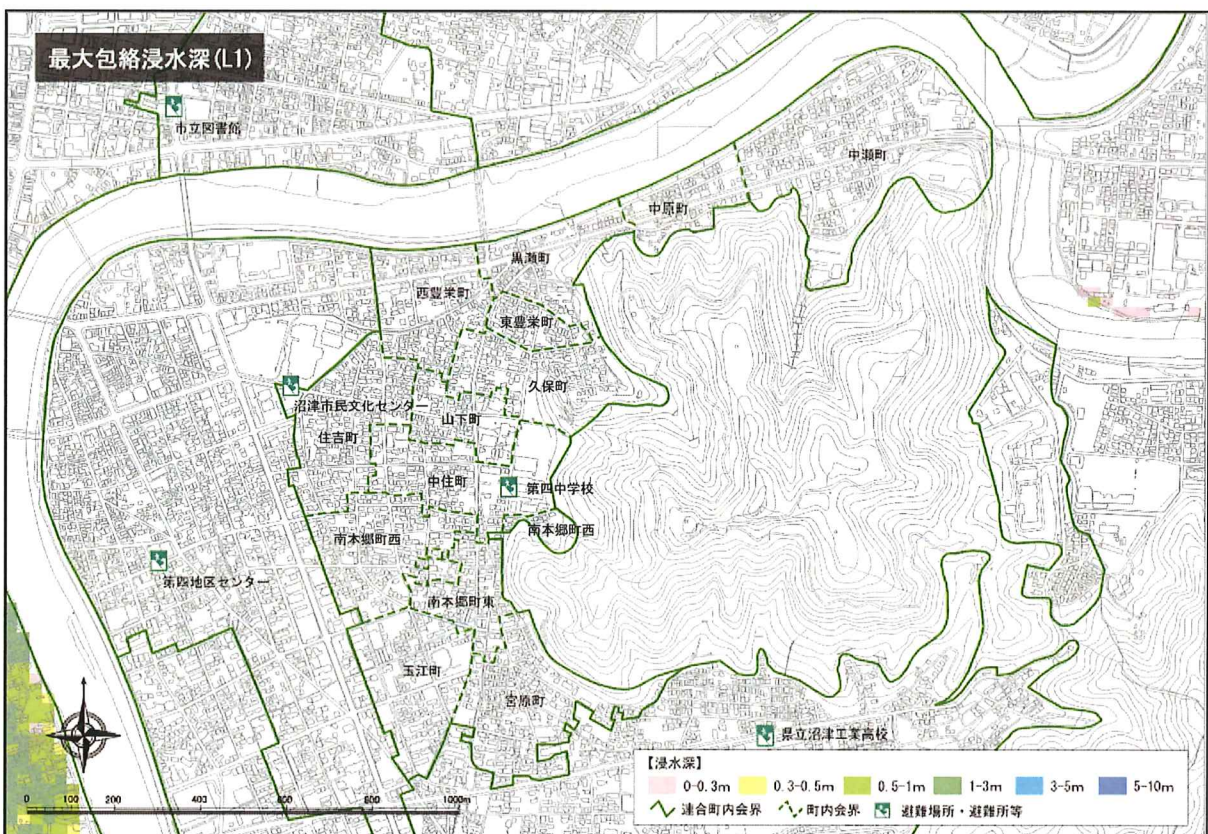
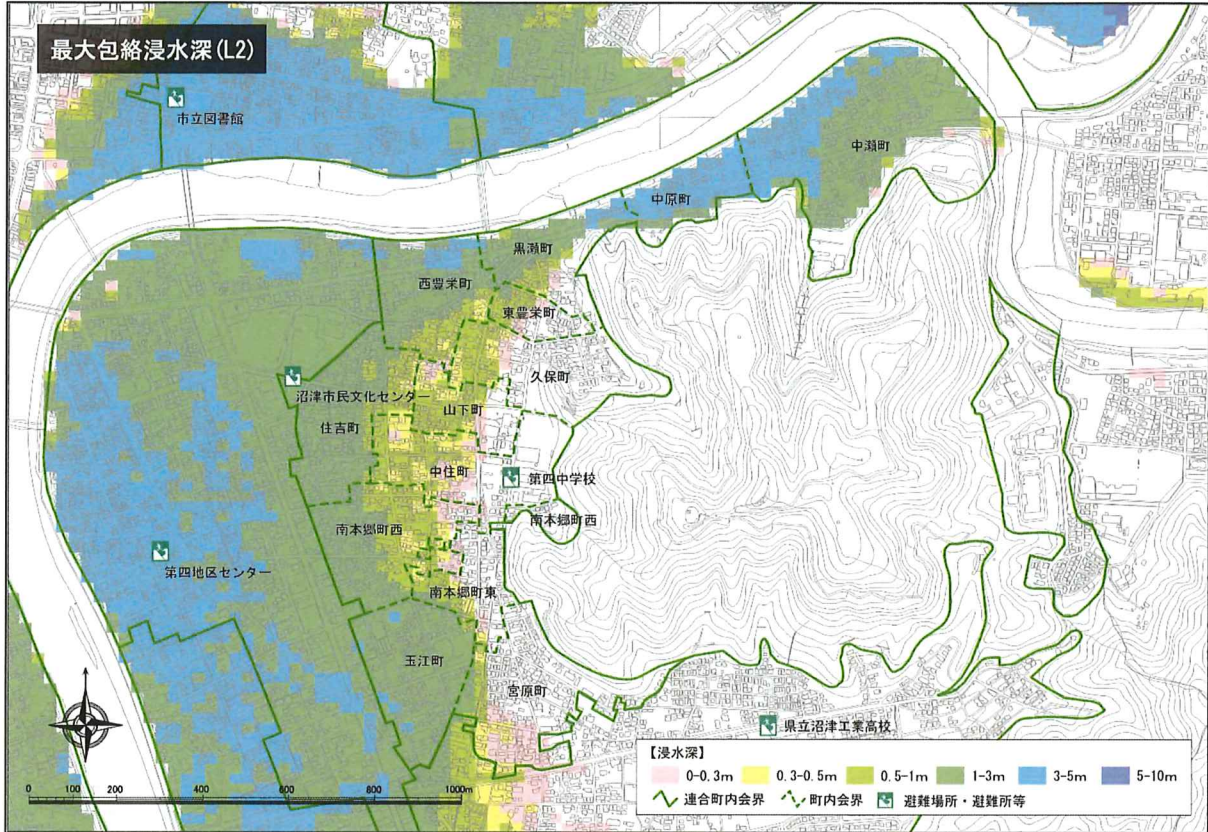
地形図

【凡例】

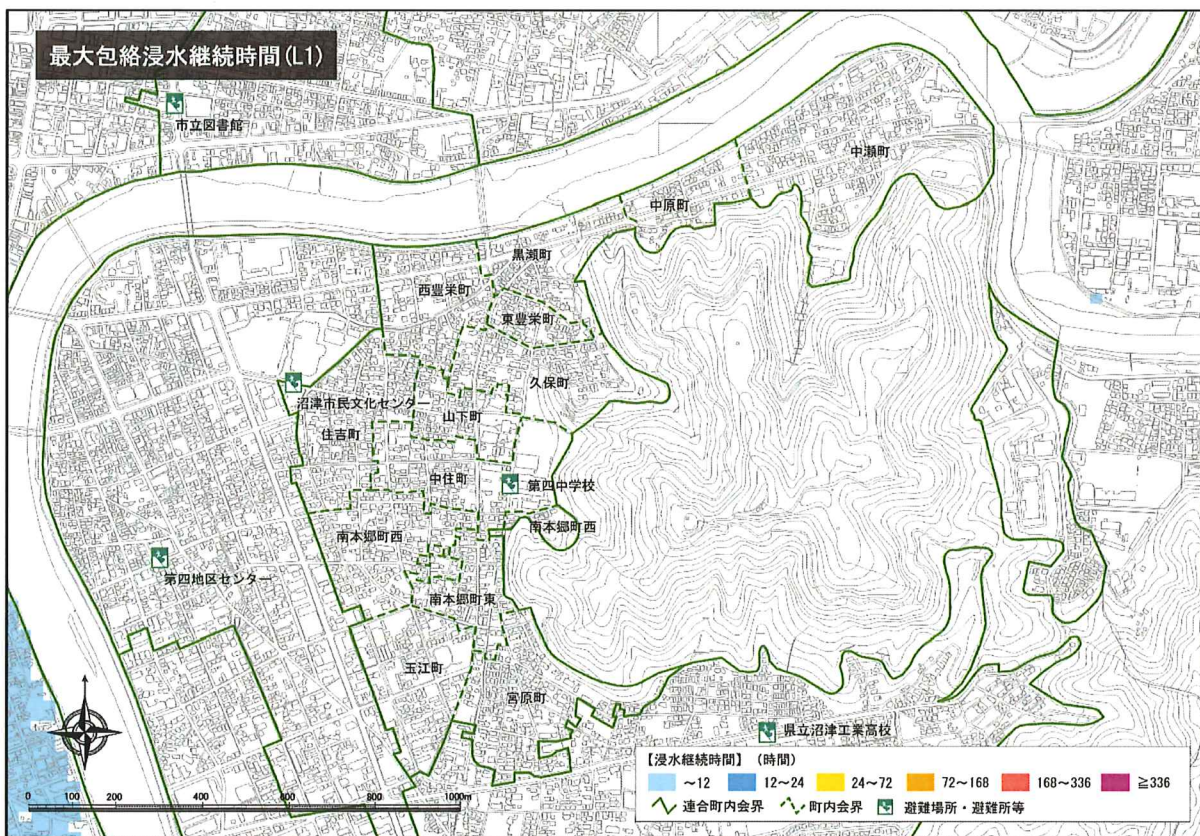
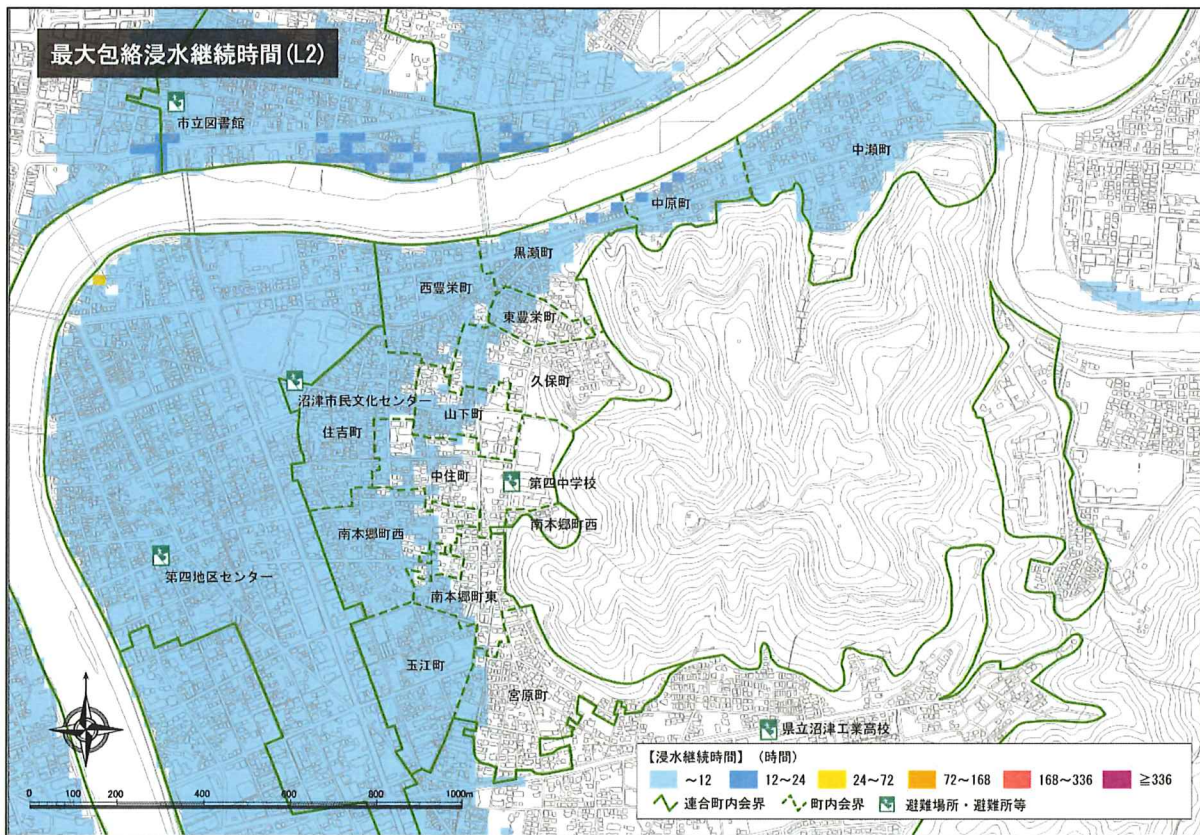
- 連合町内会界
- 町内会界
- 避難場所・避難所等



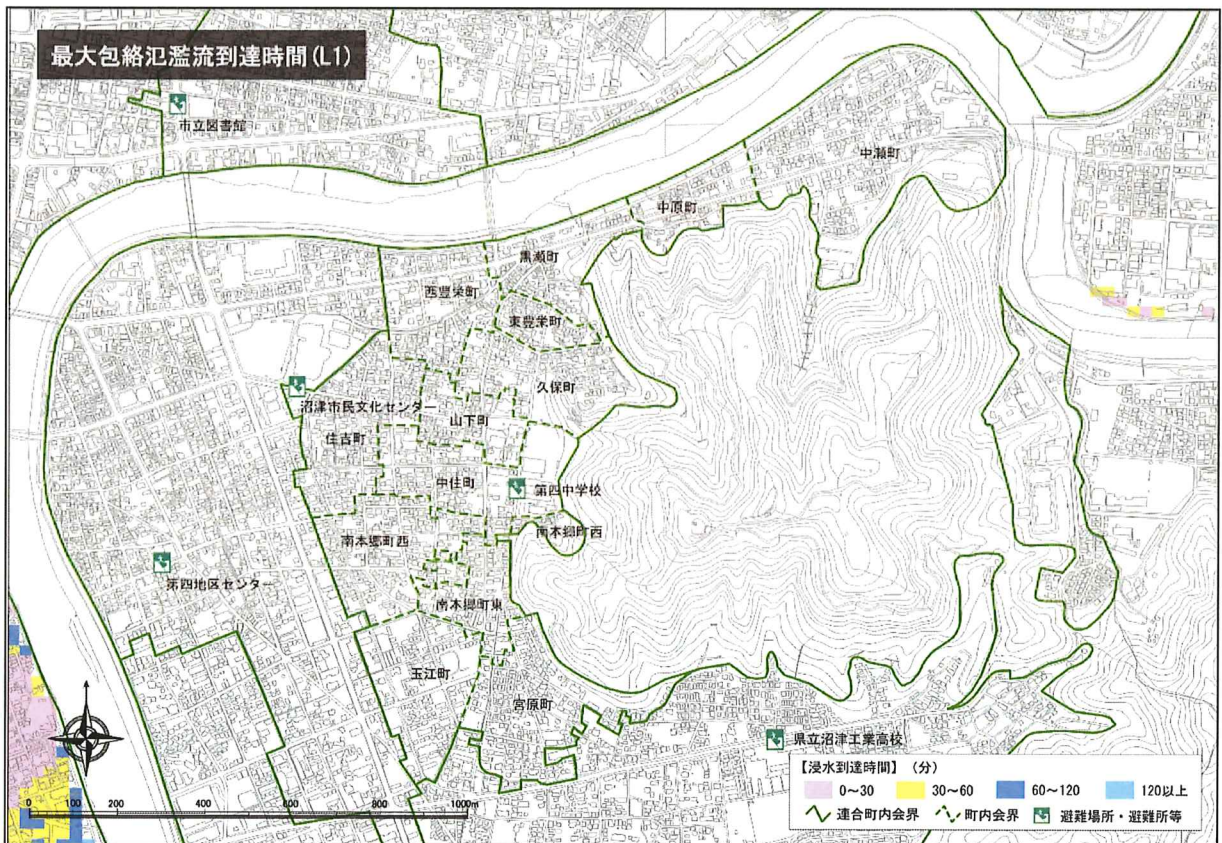
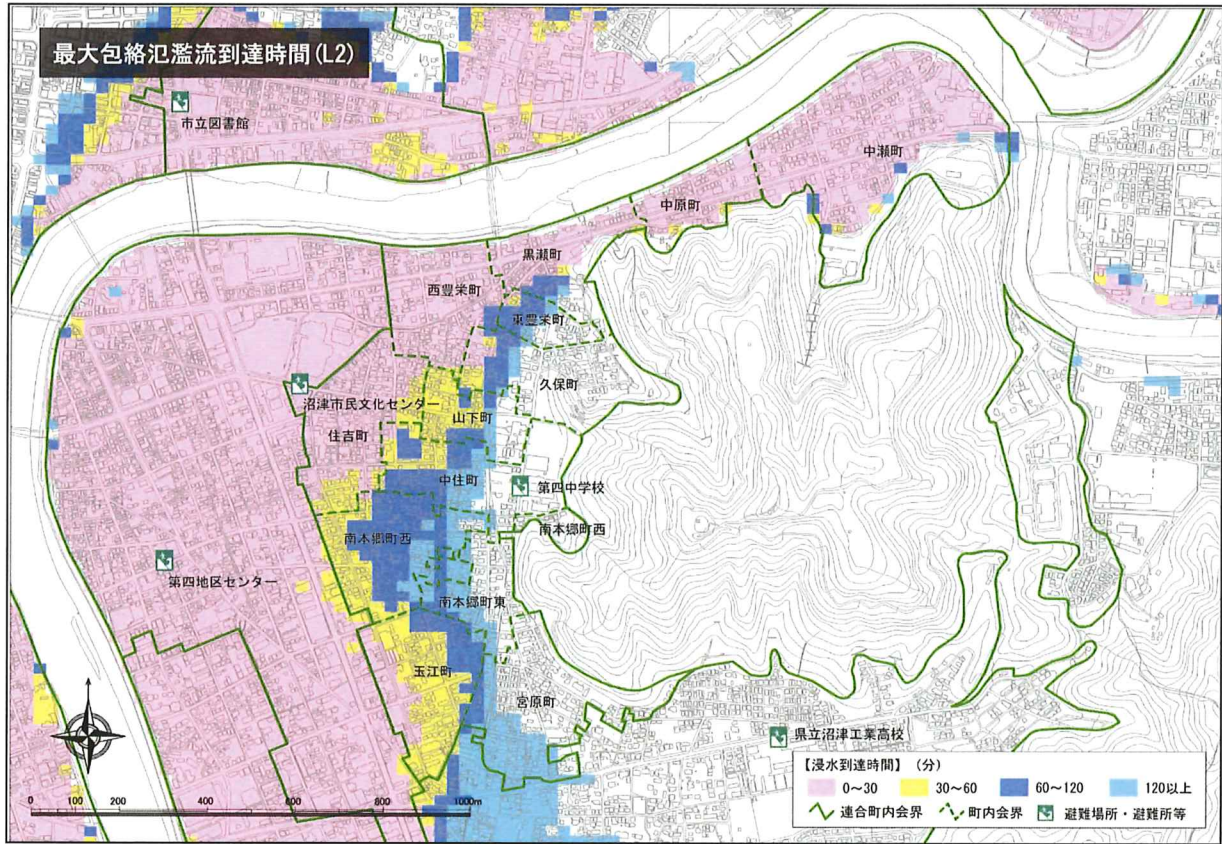
浸水範囲と浸水深を確認してみよう



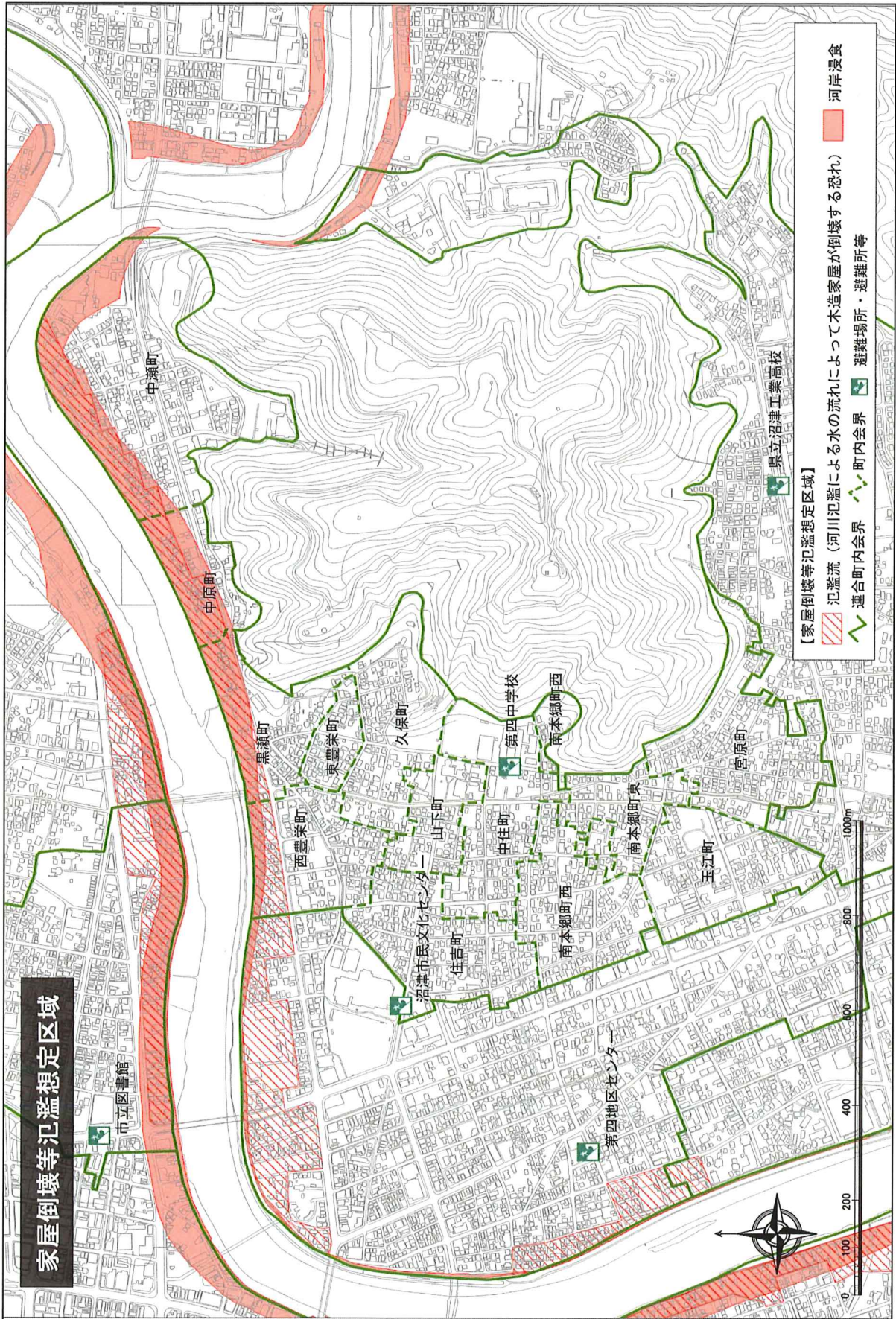
浸水継続時間を確認してみよう



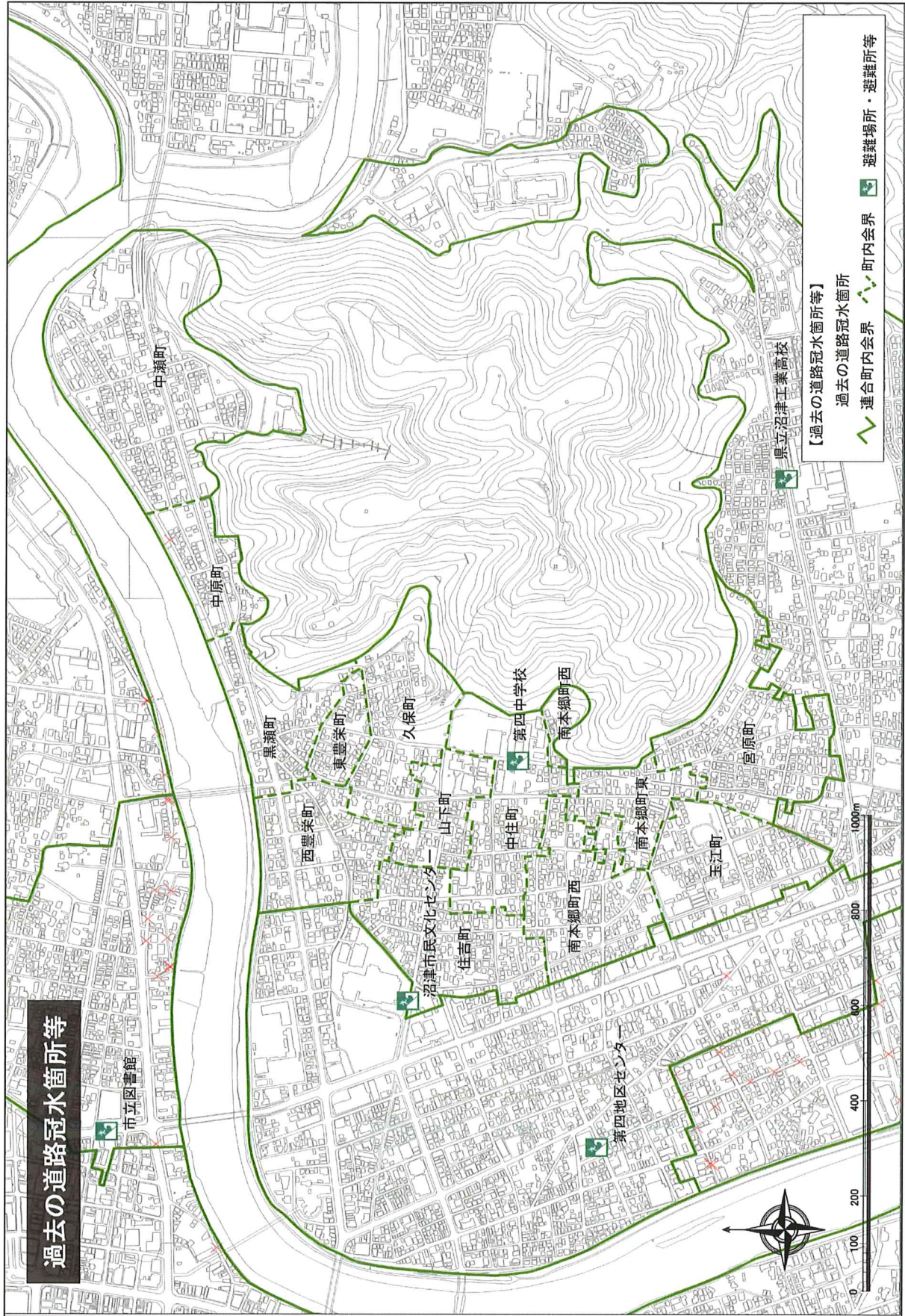
氾濫流到達時間を確認してみよう



家屋倒壊等氾濫想定区域を確認してみよう



過去の浸水箇所を確認してみよう



土砂災害ハザードマップを確認してみよう

